

アスペルギルス・オリゼー由来リボヌクレアーゼ**T2**、組換え

Cat. No. NATE-1930

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 アスペルギルス・オリゼーリボヌクレアーゼ**T2**は、さまざまな微生物、植物、動物種に存在

するRNase T2ファミリーのエンドヌクレアーゼの一員です。アスペルギルス・オリゼーリボヌクレアーゼT1が特にグアニル酸特異的なエンドヌクレアーゼであるのに□し、すべてのRNase T2□酵素は本質的に塩基非特異的です。しかし、異なる種のRNase T2エンドヌクレアーゼはわずかな塩基の好みを示すことがあります。真菌酵素、特にアスペルギルス・オリゼーRNase T2は、次の順序でわずかな塩基の好みを示します: A>G>C, U。RNase T2は、1つの塩基の3'-リン酸残基と隣接するヌクレオチドの5'-OH残基の間を切断し、2', 3'-環状リン酸中間体を形成し、その後3'-リン酸残基を持つオリゴヌクレオチドを生成します。この酵素

は、さまざまな用途で非哺乳類由来のRNaseとしても使用されます。

別名 リボヌクレアーゼ **T2**; RNase **T2**; リボヌクレアーゼ

製品情報

種 アスペルギルス・オリゼー

由来 ピキア・パストリス

形態 凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.1.27.1

分子量 36 kDa

活性 ≥10,000 ユニット / mg タンパク質

等電点 5

最適pH 4.5

単位定義 1ユニットは、37°C、pH 4.5で15分間に260 nmで1.0の吸光度の□加を引き起こします。

保管・発送情報

保存方法 2-8°℃で保管してください。

安定性 2-8°Cで12-18ヶ月間安定しています。